

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 授業の取組は概ね良好である。しかし家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が多いため、学習を積み重ねていくことに課題があることに加え、小学校段階で英語に対して苦手意識をもってしまい、英語を主体的・意欲的に取り組もうとしない生徒が一定数見られる。
- (2) 授業アンケートの結果、授業の中でわからないことや困ったことがあったときにグループでの話し合いや助け合いができる雰囲気づくりができていることが分かった。一方、授業のはやさについて「はよい」「ややはよい」と答えた生徒が1/4ほどいたので、ドリル練習など繰り返し行いながら表現の定着ができるようにしていく必要がある。
- (3) 定期考査では、単語、文法や語順等の問題は正答率が低かったので、中学生で身に付けるべき基本的な文法事項や語順について反復練習する必要がある。

2 改善の計画

- (1) 学習面
 - ・オンライン学習教材や Chromebook を活用した授業を展開し、生徒の興味関心を高めながら主体的・意欲的に英語学習を進める工夫を取り入れていく。
 - ・日々の課題や提出物への取り組み方を再考させ、しっかりと自分の力になるように取り組む工夫を取り入れる。
 - ・四技能をバランスよく伸ばさせるよう日々のワークシートや小テストを工夫して作成する。
- (2) 指導面
 - ・少人数編成を作る際に、習熟度を鑑みて教え合いや学び合いができる集団を形成する。
 - ・授業内で挙手する場面を増やし、各生徒が主体的に取り組むことができるアクティビティを取り入れることで、全員参加型の授業を展開する。
 - ・到達目標をより明確かつシンプルに設定することで、各生徒が「何ができるようになるのか」「どんな力を身に付けられるのか」を正しく理解したうえで学習を進めるよう工夫していく。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 自分が立てた目標に向けて、計画を立て、振り返りをさせる取り組みを行う。
- (2) 周囲とコミュニケーションをとりながら、課題を解決する場面をつくる。

4 プランの評価方法

- (1) 定期考査や日頃の小テストの結果などを分析し、改善に活かす。
- (2) 授業アンケートで生徒の意識を確認する。